

# 未来につむぐ自分らしさの創造

よりよい成長・より良い社会に向けた自分らしさの確立



## 小中一貫だより No.3

### 下川小学校・中学校小中一貫教育目標が完成

令和7年4月から、下川小学校・中学校が施設分離型小中一貫校となり、1年間かけて、先生方、子どもたち、地域の皆さんと対話しながら、新しい教育目標を作成してきました。新しい教育目標は「未来につむぐ自分らしさの創造」です。ありのままの自分を大切にしながらも、多様な人と関わり、糸をつむぐように自分らしさを創造していく下川の子どもを、学校、保護者、地域 みんなで育てていきましょう。

### ＜小中一貫教育目標ができるまで＞

#### 7/25 下川小中一貫委員会(小中学校の先生方)

小中学校の先生方が一同に集り、課題意識や想いを共有。教科・クラスを通じてどんな子どもたちがどんな姿があったらよいか、そのためにできることを共有しました。



#### 7/29 学校運営協議会と下川中学校生徒会・学年委員

「これからの社会を1人ひとりが、自分らしく生きるためには、どんな力が必要か?」という問いで、中学生と地域の大人が対話。事前に小学校高学年、中学生にとったアンケートからは「コミュニケーション力」という回答が多く、「コミュニケーション力って具体的には?」ということを中心に、「自分の意見を言えること」「人の話を聞けること」「柔軟性」「個性を認めあう」などのキーワードが浮かび上がりました。



#### 8/1 地域共育ミーティング

幼小中高校の先生方、地域の方々29名が参加し、生徒たちとの対話と同様「これからの社会を1人ひとりが、自分らしく生きるためには、どんな力が必要か?」をテーマに話し合いました。すべてのグループから「自己決定」というキーワードが出て、その過程には、挑戦・失敗する機会、試行錯誤や自己調整力などが大切。また、それらの子どもたちの姿を支える大人の許容力が不可欠というお話もありました。



#### 9/9 学校運営協議会

保護者アンケートや、中学校生徒との対話、地域共育ミーティングの意見をもとに、学校運営協議会で意見書をまとめました。



#### 2/17 学校運営協議会

最終的な学校教育目標が完成し、小中一貫委員会の高舘先生から説明を受けました。

※小中一貫教育目標づくりのプロセスは、地域共育ビジョンHPでもご紹介しています。

